

マスケット投票通信

Vol.6

筑波大学附属大塚特別支援学校小学部

学校紹介

筑波大学附属特別支援学校は、昭和35年に発足した伝統のある学校で知的障害のある幼児児童生徒が学ぶ学校です。幼稚部、小学部、中学部、高等部の4つの部があり、小学部全3クラス(児童数23名)で、1月29日(月)にマスケット投票を行いました。

本校は、オリンピック・パラリンピック教育にも力を注ぎ、年間を通じて、様々な学習に取り組んでいます。「大塚オリパラデー」と位置づけて、幼稚部から高等部まで全員が集まる合同朝会の時間に、友達同士協力してゲームをしたり、様々な国の音楽に合わせてダンスをしたり、オリンピックの方とのスポーツ交流をしたりします。最近では、平昌(ピョンチャン)2018冬季オリンピック・パラリンピックにちなんで韓国料理のメニューが給食で提供されました。

授業の流れ

- 授業前** 平昌2018冬季オリンピック・パラリンピックに関して、韓国出身の保護者にゲストティーチャーとして話をいただき、韓国の文化(挨拶の言葉、食べ物、衣装、お金、遊び)などについて学びました。
- 導入5分** 東京2020オリンピック・パラリンピックのマスケットは、小学生が投票して決めることができること、自分たちも投票という形で東京2020オリンピック・パラリンピックに参加できることを児童に伝えました。
- 展開10分** 本校には、音声言語によるコミュニケーションが難しい児童もいますので、どの児童も参加できるように、東京2020大会マスケットの候補紹介動画を見て、一人一人が投票したいマスケット候補を決め、投票しました。クラスのなかで一番票の多かったマスケット候補をクラスの投票とすることにしました。
- まとめ5分** 各クラスごとの投票結果を発表すると児童からは歓声があがりました。投票の結果は、2月末に分かることを児童に伝え、オリンピック・パラリンピック学習の振り返りを行いました。

投票の様子



候補紹介動画をみんな真剣に見ていました！



一人一人、決めた候補にボールを入れて投票しました。透明の筒は、児童にとって量の比較が視覚的に分かりやすい教材・教具です。

児童からの感想

- ・投票は楽しかった。
- ・2月末の結果が楽しみ。
- ・自分が投票したマスケットになったらいいな。

先生方からの感想

- ・本校が、これまで毎年オリンピック・パラリンピックにちなんだ取組を積み重ねてきたことで、児童自身もオリンピック・パラリンピックに関心をもち、発言をしている姿が増えてきた。
- ・自分の好きだと思つものを自己選択することで、どの児童もマスケット投票に参加することができた。

マスケット投票時に活用した教材等

- ・東京2020組織委員会から提供されたマスケット投票に関するイラスト教材やダウンロード可能な動画
- ・透明の筒(教材・教具の考案者：根本文雄本校副校長)